

30th
Anniversary
30周年記念特集号

ANDO
EYE
CLINIC

医療法人社団 安藤眼科医院

Annual Report 2019

高度な医療 そして やさしい心配り
患者様の明るい世界、輝く笑顔が見たいから成長し続けます





松田本院



小田原クリニック



目 次

院 長 挨 拶	理事長・院長	安藤 浩	1
名誉院長挨拶	名 誉 院 長	安藤 展代	2
	検 査 部 長	井上 拓己	3
	看 護 師	金田 浩子	3
	事 務	小寺 弥生	3
安藤眼科医院の30年			4
安藤眼科医院の30年（手術関連編）			5
	手 術 室 長	木村 智嘉	5
	看 護 師 長	松山 さやか	6
手術件数の推移			7
	副 院 長	江口 亮	8
2019年に行われた手術			8
安藤眼科医院の30年（検査・レーザー機器編）			9
	医 長	石川 暢子	10
	医 長	戸野塚 敏恵	10
	ロービジョンマネージャー	視能訓練士 笹原 諒平	10
安藤眼科医院の30年（事務編）			11
	事 務 部 長	加藤 晃仁	11
ひとみすっきり号（無料送迎車）の動き			12
	すっきり号マネージャー	生水 里美	12
安藤眼科医院の30年（イベント編）			13
	南足柄責任者	飯山 百合子	13
職員数の推移			14
思い出アルバム			14
2019年の記録			
	2019年の思い出		18
	医師会・眼科医会		18
	学会発表・講演		18
	学会・勉強会		19
スタッフ			20
編集後記			20

院長挨拶

理事長 安藤 浩



令和元年～2年のこと

令和元年も、地域の人々、近隣の先生方、大学病院の先生方、業者の人々と、安藤眼科医院職員のおかげで、安藤眼科医院はとても有意義な成長ができました。本当にありがとうございます。まずはアニュアルレポートとして、令和元年で思い起こすことを列挙したいと思います。

山根式の IOL 強膜内固定術を横浜市立大学山根先生に平成 30 年に直接教をいただいています。令和元年にかけて同術式の適応となる手術が多く存在し、本当に多くの目が助かりました。新しい術式のすばらしさと、それを開発する優れた先生の力をまざまざと見た気がします。その他、新薬エイベリスの発売 1 年を経過、デジタルカルテのバージョンアップ、超音波装置の購入といくつもの出来事が実を結ぶ一年でした。年末も近づいてのうれしい出来事は、Navilas[®] ナビゲーションレーザーシステムの導入でした。網膜（眼底）のレーザー治療を、画像解析を用いてコンピュータ制御で施行する、まったく新しい機械です。術者の反射速度には人間としての生化学的な限界があり、これを、Navilas[®] 搭載のコンピュータは軽く凌駕します。つまり、ある程度ならば患者眼が揺れてもレーザーを打てることになり、今までよりも黄斑（眼底の中心）近くの病変を治療可能になったのです。11 月から実働し、すでにいくつもの症例に素晴らしい効果を上げてきています。

当院は令和 2 年に向かって、さらに多くの人々の視覚を中心とした生活を良くしていけるように努力したいと思います。

開設 30 年そしてこれからの 30 年

当院開設 30 年です。30 年前には、スマホ、インターネットはほぼなし、加齢性黄斑変性症等の疾患もまだ分類されていない時代です。緑内障の疫学調査も未完です。しかし、手術用顕微鏡を用いて水晶体再建術（白内障手術）の現在の姿がおよそ完成し、緑内障の手術術式として MMC を用いた繊維柱帯切除術が完成に近づいていました。当院 30 年の歴史はちょうど、現在の眼科学が多くの先輩医師の素晴らしい業績と努力によって花開こうとする時代でもあったと思います。眼科学の大変革の時代に運よく開設した当院は、最先端の医療の荒波にもまれながら大きく成長できました。当院の成長を支えてくれたあらゆる人々と社会に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

そして、眼科学、ネットを含むコンピュータ、化学、工学は現在も大きく発展し続けています。おそらくこれからの 30 年も眼科学とその周囲は変革の時代が続きます。現在は世界を変えられるチャンスの時代なのでしょう。

令和元年に当院はデジタルカルテメーカーの製品開発 / 改善に協力する方針を整えました。発展中とはいえ、コンピュータ性能とプログラム開発コストには限界があり、これをどう使うかはメーカーと使用現場の連携が不可欠と考えたからです。まだ、仮発進の段階ですが、大きな可能性を秘める協力体制だと思います。外来規模、手術規模、機動力、がちょうどバランスの良い当院が、国内有力の一角である同メーカーと組めば、おそらく今までになかった発見や発展を得られる、そして眼科を中心とした世界を変えられると期待しています。私自身も、新たな知見を得て成長できれば、それをきっかけに当院の成長に結びつけられるかもしれません、知恵を絞り、組織論、その他

もろもろの知識を動員し、はたして実を結ぶのか。運と努力が大きく必要なところですが、夢は大きく膨らみます。

開設からの30年、多くの人々に支えていただきながら当院は発展できました。そして、30年後には、多くの人々と協力し合いながら当院が大きく成長し、現在では想像もできないほどの優れた医療行為を行い、社会を支えている、そんな未来を夢見ています。今までの30年を尊び、懐かしく思い出しながら、これからの未来を楽しみに眼科を続けていきたいと思ひます。

30周年に当たって

名誉院長 安藤 展代



病院勤務を10年ほどしている間に、眼科手術(特に白内障手術)は目覚めたように進歩し始めた。それについて行こうとする努力は病院の機構の中では無理だと気付き、開業を思い立った。日帰り白内障手術は当時とすれば非難の対象にもなったが、患者さんからは大変喜ばれ、近隣の先生方からも多数のご紹介をいただき、外来も手術枠もすぐにいっぱいになった。手術症例数が増えるに従って手術の技術を上げることは勿論だが、外来も手術も、診療所全体をシステム化することも必要になった。当時日本眼科医会が北米を中心とする眼科施設見学ツアーを何度か企画して下さった。また、個人的伝手をたどって、いくつかの施設に1~2週間滞在して見学させていただくという幸運にも恵まれた。国内でも日帰り手術の先駆者たちの施設を見学させていただいた。これらの機会はどれも大変ありがたく、これらのことが無かったら、私の手術の進歩も、施設の拡充もできなかったらと思う。

理想の手術室構想を練り、1996年広い手術室を持つ小田原クリニックを開業したときは本当にうれしかった。この頃から勤務して下さった数名の先生方が大変優秀で、手術もハイレベルであったので、できたばかりの手術室はフル稼働し、故樋田教授のお力添えもあり、間もなく硝子体手術も立ち上げるに至った。

手術の幅が多岐にわたり、外来患者数も増加し、職員の数も急激に増え、それらが2院の間を複雑に行き来する、全ての管理は非常に煩雑になった。開業20年経過した時、当時40歳になった安藤浩に全権を委ねることにした。彼は現在の、江口、石川、戸野塚先生、何人もの非常勤の先生方を招き、管理業務を替わってくれた。おかげで私は以前にも増して“趣味の眼科”に集中できるようになった。健康にも恵まれ、外来も手術も立ち遅れにないように楽しむことができるのはとても幸せなことである。

これまで大きな励みを与えて下さった患者さんたち、力を貸して下さった近隣の先生方、ご指導下さった先生方、くすりばこの皆様、製薬会社、機械メーカー、眼内レンズ関連の方々、勤めて下さった先生方、勤めて下さった職員の皆様に心からお礼を申し上げます。そして現理事長、院長の安藤浩に引き続き厚いご支援いただきますようお願い申し上げます。

30年一緒に仕事をして現在に至る職員は私のほかに3名おります。以下にご紹介させていただきます。

検査部長 井上 拓己

平成元年に松田駅前の安藤眼科医院でアルバイトとして働きだしてから、気が付けば30年もの月日が経ちました。当時は予約制ではなかった為、朝早くから医院の入り口に行列が出来ていたのを思い出します。安藤眼科医院が今のように続けてこられたのも地元の方々の支えがあったからに他なりません。これからも地元の方に愛される眼科として成長していけるように努力を続けてまいりたいと思います。



看護師 金田 浩子

開院当初から外来、手術に携わることが出来て誇りに思える仕事をしてまいりました。子育てしながら続けてこられたのもこの眼科が好きで毎日出勤するのが楽しみだったからです。医療技術の進歩は目覚ましく、白内障手術に1時間かかっていた時代が懐かしく思います。いつの日か私が患者としてお世話になる日も近いでしょう。



事務 小寺 弥生

私も安藤眼科に入職し30年が経ちました。当時職員は10人満たなかったのではないのでしょうか。午前診療が終了し、手術、そして午後の診察と1日があつという間に終わり、1年が過ぎていたように思います。今は60人超えの大世帯。その中の一人で長居をしています。この先のタイムリミットまで頭と身体にムチを打ち、何事も誠心誠意努めてまいりたいと思います。



21周年院長交代記念講演会



安藤眼科医院の30年

西 曆	出来事
1989年 2月3日	安藤眼科医院開院
1990年 11月2日	法人化
1991年	
1992年	
1993年	
1994年	
1995年	
1996年 9月	安藤眼科医院 小田原クリニック開院
1997年	
1998年	
1999年	開院10周年パーティー
2000年	
2001年	
2002年	
2003年	
2004年	
2005年	
2006年	
2007年	
2008年	
2009年	
2010年 3月1日	安藤浩 理事長・院長就任 21周年記念講演会
2011年	
2012年 2月2日	南足柄クリニック開院
2013年	
2014年	
2015年	
2016年 7月4日	松田本院移転
2017年	
2018年	
2019年 7月6日	開院30周年パーティー



安藤眼科医院の30年（手術編）

西 暦	手 術	手術用顕微鏡
1989年	白内障手術 ECCE（水晶体囊外摘出術）開始	UUNIV.S3
1990年	白内障手術 PEA（超音波乳化吸引術）開始	
1991年		
1992年		
1993年		
1994年		
1995年		
1996年		OMP1S4
1997年		
1998年		
1999年		
2000年	屈折矯正手術 LASIK フェイクック IOL 手術開始	
2001年		
2002年		
2003年	硝子体手術開始	
2004年		
2005年		VISU210
2006年		
2007年		
2008年		
2009年		ルメラ -T
2010年	眼内コンタクトレンズ ICL 手術開始	
2011年		
2012年	屈折矯正手術 SMILE カスタム LASIK 開始	
2013年	緑内障手術 EX レクトミー開始	
2014年		
2015年		ルメラ 700
2016年		
2017年	白内障手術 FLACS 緑内障手術 iStent 開始	
2018年		
2019年		

手術室長 木村 智嘉



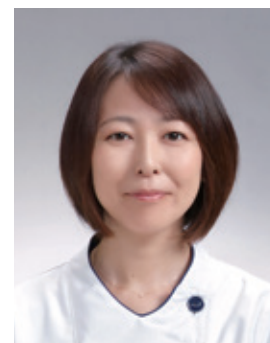
安藤眼科が歩んで来た30年間の歴史を余すことなくギュギュッと凝縮した年表に私が参加するのは2005年からになります。

この年表をご覧になった眼科関係の方であれば、手術顕微鏡、白内障機械、レーザー装置各種、検査機器等々どれを見ても必要にして充分やや充分すぎる？品揃えで安藤眼科の診療を行ってきたことが私が言うまでもなく感じて頂けると思います。『新しい物が大好きな名誉院長』+『その血を継いだ院長』=『安藤眼科にある機器のラインナップ』ということでしょうか。もちろん、これらが悪戯に揃えられている訳ではなく安藤眼科にかかる患者様全ての人に最新で最善な医療を提供する為であり、そんな医療の提供が行えていると私は思っています。

これからもこの年表が長く大きな物になるように患者様ファーストの精神で職員一同頑張りたいと思います。

西 暦	白内障手術機械	硝子体手術機械	屈折矯正手術機械
1989年			
1990年	CV8000		
1991年			
1992年			
1993年			
1994年			
1995年			
1996年	レガシー		
1997年	プレステージ		
1998年			
1999年			
2000年			EC5000
2001年			
2002年	ソブリン		
2003年		アキュラス	
2004年			
2005年	インフィニティ		
2006年	ゾブリンホワイトスター		
2007年	オジル搭載		
2008年			
2009年	シグネチャー		
2010年			
2011年			
2012年		コンステレーション	Visix VisuMax
2013年			
2014年	センチュリオン		
2015年			
2016年			
2017年	CATALYS		
2018年			
2019年			

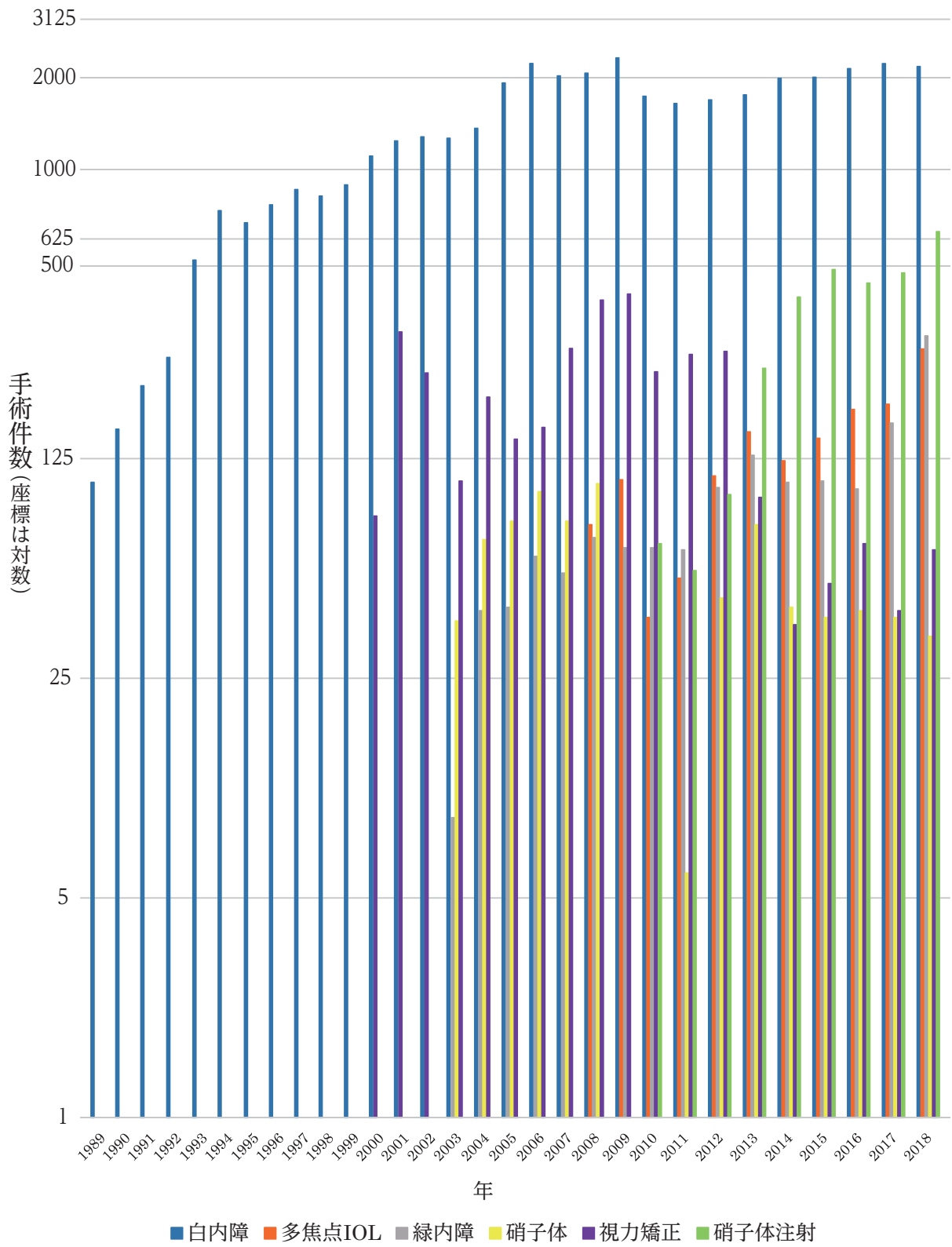
看護師長 松山 さやか

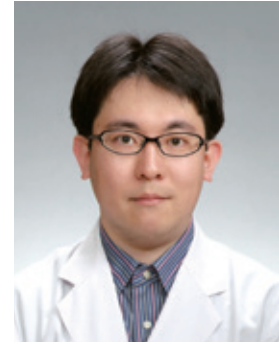


毎年毎年こんなに沢山の患者様の手術をしているのに、今年もこんなに手術をした人(眼)がいた!! (笑) 毎年の忘年会の発表を聞いて感じていることです。

30年前の白内障手術件数と比較すると、ここ5年は白内障だけで20倍以上となり更には緑内障なども含めるとただただ圧倒される数です。私の2006年入職当時から内眼手術をするのは週3日と今も変わらないので、1日の手術件数が増加する中如何に効率よく多くの患者様に手術を受けてもらえるか試行錯誤し工夫が必要です。その中で手術の予定を立てるところから手術が終わるまで患者様の思いにできるだけ添えるよう看護師全員で頑張っていきたいと思います。

■手術件数の推移





まず驚かされるのが、現在の手術室ができる(1996年)以前の外来手術室の時点で既に700件もの白内障手術を日帰りで施行していたことである。件数もさることながら、当時まだ一般的ではなかった日帰り手術を積極的に行っていたことの見識は素晴らしいものであったと感じる。さらに、常にその時代の最新機器を用いて手術してきたことも特筆される。最新のテクノロジーとそれを支える技術によって、安全な手術を多数の患者様に提供できたことは喜ばしいことである。またその結果、近隣の先生方からも信頼していただくことができ、現在多数のご紹介をいただけていることは当院の誇りである。白内障手術件数も増加傾向だが、MIGSの進歩や硝子体注射の適応拡大もあり、ここ1-2年で緑内障手術や硝子体注射の件数が急増している。今後も常に最新の知識、技術を取り入れる努力を重ねつつ、安全かつ高レベルの手術を行っていきたいと考えているのでぜひ安藤眼科医院に期待していただきたい。

2019年(2018年12月～2019年11月)に行われた手術

内眼手術

水晶体再建術	2339	
先進医療マルチ(内数)		415(18.0%)
自由診療マルチ(内数)		24(1.0%)
緑内障手術	297	
硝子体手術	34	
合計(a)	2670	

外眼手術

翼状片	56
眼瞼手術	62
霰粒腫	10
PTK	19
その他	7
合計(b)	154

屈折矯正手術

ICL+P-IOL	8
LASIK	11
SMILE	56
PRK	2
エンハンス	3
合計(c)	80

硝子体注射

ルセンチス	161
アイリーア	826
合計	987

ケナコルト後部 テノン嚢内注射	34
ボトックス	19

手術合計(a+b+c)	2904
--------------------	-------------

2018年12月から2019年11月までの術中トラブルを挙げると次のようになる。

破嚢：27眼(1.2%)

水晶体亜脱臼または毛様小体脆弱症例：44眼(1.9%)

ICCE：1眼 ECCE：3眼 CTRを挿入してきりぬけたもの：40眼

IOL関連：10眼

その他、この1年で脱臼又は亜脱臼したIOLを摘出した症例が11例あったことから、将来のIOL脱臼を予防する目的でhigh riskの33例にCTRを予防的に挿入した。

安藤眼科医院の30年（検査等編）

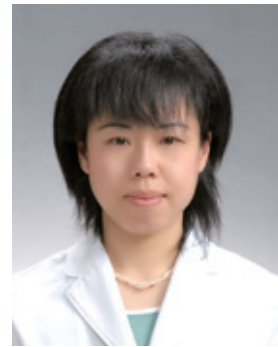
西 暦	検査機器	光凝固等レーザー機器
1989年		
⋮		
1998年		
1999年		
2000年	スペースセイビングチャート ノンコンタクトトノメーター	
2001年		
2002年		コンビネーション型 オフサルミックレーザー (光凝固レーザー, YAGレーザー)
2003年	OCT3000 イメージネット	
2004年		
2005年		
2006年		
2007年	ペンタカム	
2008年		
2009年	シラス HD-OCT	PASCAL, VISULAS YAG III
2010年	ノンコンロボ	
2011年		
2012年	オプ图斯(200Tx), ウェーブフロントアナライザー Wave scan	
2013年	OCT (ハイデルベルグスペクトラリス)	
2014年		
2015年	TMS-5, IOLマスター700	
2016年	ベリオン	
2017年	OCT (Triton) , icare home	
2018年	オプ图斯(デイトナ) ERG (RETevel)	
2019年	超音波計測・診断システム UD-800 コントラストグレアテスター, IOLマスター700	Navilas

医長 石川 暢子



レーザー治療の歴史は比較的新しく、日本では1970年代に糖尿病網膜症に対する治療としてアルゴンレーザーが導入開始され現在では日常診療に広く用いられている。2009年から当院で運用されている光凝固装置パスカル[®]は従来型の装置と比べ凝固時間が短く網膜への侵襲が少ないとされ、照射時の疼痛は大幅に減少している。2×2や3×3などの複数同時照射が可能で所要時間が短縮されることから患者・医師共に負担が軽減されたのもありがたい点である。その他のレーザーには後発白内障の後囊切開や閉塞隅角緑内障急性発作時の虹彩光凝固にYAGレーザー、2000年から開始された屈折矯正手術LASIKではエキシマレーザー、2012年から開始されたReLEx :SMILE 及び2017年に導入された白内障手術FLACSではフェムトセカンドレーザーがありいずれも当院での治療に活躍中である。レーザー光凝固治療の新たな展開として、今年11月に先端技術ナビゲーションシステムを搭載するNavilas[®]が導入開始となった。黄斑浮腫の治療に特に威力を発揮することが期待されている。

医長 戸野塚 敏恵



私たちはさまざまな画像検査を用い診療しています。その中でも重要なものは光干渉断層計 (optical coherence tomography:OCT) ではないでしょうか。OCTは私が入局したころに登場、その当初から眼科診療に大きく貢献し、学会等で話題になっていました。以降、途切れることなく進歩してきたOCT。始めは主に黄斑部疾患に対する検査でしたが、現在では黄斑部・網膜のみでなく脈絡膜・視神経乳頭・前眼部など、あらゆる構造の情報を提供し、私たちの病態把握・診断・治療に大きく貢献しています。

ロービジョンマネージャー 視能訓練士 笹原 諒平



当院はこれまで様々な検査機器を導入してきました。その中でも特に衝撃的だと感じた機器が幾つかあります。一つがOCTです。この機器は今まで撮影不可能だった網膜や脈絡膜の断面などが撮影する事が可能です。すでに現在の診療には欠かせないものとなっており、メーカーが異なりますが3院全てに導入しています。続いてはオプトスです。この機器は今までの眼底カメラとは比較にならない程広い画角の写真撮影する事が可能です。この機器により、今までパノラマ写真で何枚もの写真をつなぎ合わせて構築していた周辺部の画像までもが1枚の写真で撮影可能となりました。また今後も出来ないが出来るに変わる機器を導入し、進歩発展していきたいと思えます。

安藤眼科医院の30年（事務編）

西 暦

1989年

1999年 アイチ医事センターより
サンヨー社製レセプトコンピューター「メディコム」購入

2000年 神奈川県で3番目のレセプト電算処理請求認可
小田原クリニックは有床診療所として初！

2001年

2002年

2003年

2004年 患者様送迎車 ひとみすっきり号運行開始

2005年

2006年 レセプトオンライン請求開始

2007年

2008年

2009年

2010年 電子カルテ Navis 導入

2011年

2012年

2013年

2014年

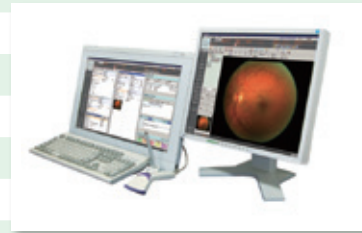
2015年

2016年 CISCO システムでファイヤウォールを用いた新社内ネットワーク構築

2017年

2018年 自動精算機導入 手術説明ロボット Tapia 導入

2019年



事務部長 加藤 晃仁



2000年10月14日（土）。

当院で初めてLASIK(近視矯正手術)が行われた記念すべき日です。フリーペーパーにLASIKモニター募集記事を掲載してもらおうと、実に329名ものお問い合わせを頂き、50名ずつ参加される説明会を毎週行っていました。担当であった自分は、手術日予約、検査日の立ち合い、手術室オペレーター補助、

手術後の目薬や注意事項の説明、クレジットカードの精算処理までやらせて頂いたお陰で、当時は手術を受けた患者様のことを何でもわかっていました。『加藤に言っておいてやるよ。』と、施術された方が御友人や職場の同僚の方を何人もご紹介下さり、本当にありがたかったことが思い出されます。

先日、何人も御紹介頂いたN.S様が受診され、多焦点眼内レンズによる白内障手術を受けられました。安藤展代がLASIK、20年の時を経て同じ患者様に息子である安藤浩が多焦点眼内レンズの手術をする。『安藤眼科医院』の名は同じでも、技術も人もブラッシュアップされていることに、この20年という時の流れをしみじみと感じたのでした。

■ひとみすっきり号（無料送迎車）の動き

すっきり号マネージャー 生水 里美



安藤眼科医院は今年で30周年。

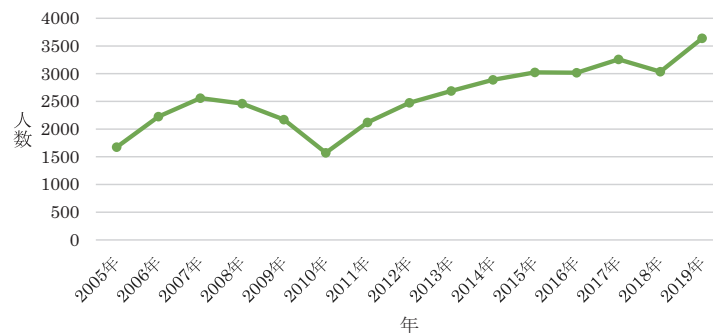
患者様の無料送迎車(すっきり号)は、今年で運行16年目となりました。運行開始当初はドライバー2名、すっきり号1台と寂しいものでしたが、多くの患者様に御利用頂き現在ではドライバー5名、運行管理スタッフ2名、すっきり号4台の大所帯となりました。御利用頂きました患者様には、本当に感謝しております。

すっきり号の運行範囲は小田原市、南足柄市、松田町、開成町、大井町、山北町、中井町となっており、手術当日と翌日、山北町、松田町寄地区にお住まいの患者様を中心に、無料送迎を行っております。御利用に際し事前の御予約をお願いしておりますので、手術予定時、診察時にお申し出頂きますようお願い致します。

皆様に安心してすっきり号を御利用頂けますよう、ドライバー一同無事故、無違反に努めて参ります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

2019年の利用者は延べ3640人、月平均303人でした(予定含む)。
現在すっきり号は4台、ドライバー5名で運行しています。

送迎患者数年次推移



■訓練・勉強会の様子



安藤眼科医院の30年（イベント編）

西 暦

1989年	開院
1990年	法人化
1991年	
1992年	
1993年	
1994年	
1995年	
1996年	小田原クリニック開院
1997年	
1998年	
1999年	開院10周年記念パーティー
2000年	車山高原スキー旅行
2001年	
⋮	
⋮	
2008年	
2009年	
2010年	安藤浩理事長・院長就任 21周年記念講演会
2011年	
2012年	南足柄クリニック開院
2013年	
2014年	25周年記念遠足（シルクドソレイユ オーヴォ）
2015年	26周年記念遠足（スカイツリーと浅草観光）
2016年	27周年記念旅行（東京ディズニーリゾート1泊）
2017年	28周年記念遠足（劇団四季 ライオンキング）
2018年	
2019年	30周年記念旅行（東京ディズニーリゾート1泊）、30周年記念パーティー



時期不明ですが…
八景島シーパラダイス・伊豆長岡いちご狩り
屋根の上のバイオリン弾きミュージカル鑑賞
などにも行きました

南足柄事務責任者 飯山 百合子

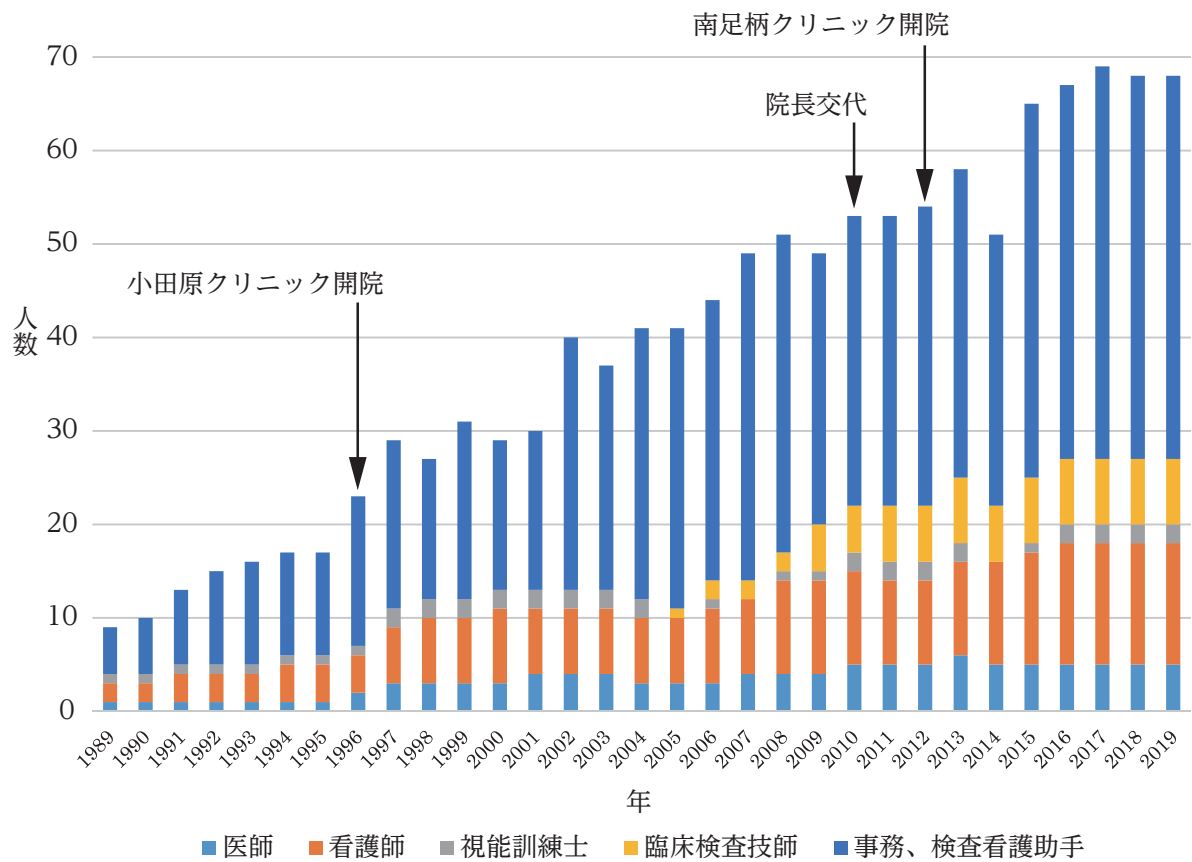


2003年に入職してから早や16年、当時小学生だった娘も4月から就職し、月日の早さにただただ驚いています。

数年前のある日、突然名誉院長から『泊りでディズニーを満喫したいので企画するように！』と直々に遠足委員長を命じられ、あれよあれよという間に4年が経ちました。『ディズニーと横浜中華街ディナーの旅（1泊2日）』、『ライオンキングとディナービュッフェの旅』は大成功でしたが、『大相撲観戦の旅』は人数分のチケットが取れず敢え無く惨敗、翌年再度『1泊2日ディズニーの旅』を企画させて頂きました。事前準備から帰ってくるまでの気苦労は言葉にするのが難しいほど大変ですが、以前は楽しそうにはしゃいでいたスタッフのお子さんが、いつの間にかすっかりお姉さんになった姿を見ると、つい小さい頃の自分の娘と重ねてしまうのが楽しかったりするものです。

2020年1月の遠足は、『シルク・ドゥアラ・シンフォニーとランチビュッフェの旅』。今年もスタッフのお子さんの成長を楽しみに、しっかりと企画させて頂きます。

職員数の推移



思い出アルバム



思い出アルバム



思い出アルバム



思い出アルバム



■ 2019年の思い出

2月28日	超音波計測・診断システム UD-800 搬入 松田本院設置
3月22日	タカギ コントラストグレアテスター CGT-2000 搬入 松田本院設置
4月20日～21日	春の遠足 東京ディズニーリゾート
5月31日	春の防災訓練
4月8日	愛 to eye 第9号発行
7月6日	開院30周年記念パーティー『大磯迎賓館』
8月～9月	職員健康診断
10月28日	愛 to eye 第10号発行
11月8日	秋の防災訓練
11月11日	ツァイス IOL マスター 700 搬入 松田本院設置
11月15日	アキュラ レーザー光凝固装置 Navilas577s 搬入 松田本院設置
12月21日	忘年会『湯本富士屋ホテル』

■ 医師会・眼科医会

1月11日	足柄上医師会新年会 松田町『千代田屋』 安藤浩
2月21日	小田原医師会・足柄上医師会学術講演 東京医科歯科大学 眼科学教室 大野京子教授講演 安藤浩 安藤展代
3月24日	足柄上医師会懇親会 小田原『RYO』 安藤浩
4月～6月	学校検診：安藤 浩 神奈川県立大井高校、立花学園高等学、 松田幼稚園、松田小学校、松田中学校、 寄幼稚園、寄小学校、寄中学校 江口 亮 神奈川県立吉田島総合高校、岡本小学校、 岡本中学校、神奈川県立山北高校、中村小学校 井ノ口小学校、中井中学校 石川暢子 大井幼稚園、大井第二幼稚園、大井小学校、 上大井小学校、湘光中学校、相和幼稚園、相和小学校 戸野塚敏恵 北足柄小学校、南足柄小学校、岩原小学校
4月30日	小田原休日急患診療所 戸野塚敏恵
6月13日	関東信越厚生局集団指導 神奈川県総合医療福祉会館 飯山百合子
7月16日	足柄上病院懇談会 松田『千代田屋』 安藤浩 江口亮
10月～11月	就学時前健診：安藤 浩 松田町 江口 亮 岡本小学校 石川暢子 大井町 戸野塚敏恵 南足柄小学校、北足柄小学校、岩原小学校

■ 学会発表・講演

12月21日	第8回JSCRS ウィンターセミナー 『レンティスコンフォートの真価と患者 QOL への貢献』 安藤浩
--------	--

■学会・勉強会

- 1月15日～19日 ロービジョン研修会（埼玉） 笹原諒平
- 2月1日～3日 日本眼科手術学会学術総会（横浜）
安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 戸野塚敏恵 木村智嘉
- 2月15日 エイベリス点眼液勉強会 参天製薬(株)小俣様
- 2月26日 東海大学眼科病診連携世話人会
オークラフロンティアホテル海老名 安藤浩
- 3月1日 YOKOHAMA 病診連携の会
ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 石川暢子
- 3月1日～2日 CAOS21 の会 高島西眼科 安藤展代
ツカザキ眼科 安藤浩 安藤展代
- 3月9日 神奈川県視能訓練士の会 ホテルプラム 山口優希
- 3月10日・17日・24日 眼科医療従事者講習会 大木美香
- 3月31日 網膜静脈閉塞症（RVO）診療セミナー スイスホテル南海大阪 江口亮
- 4月18日～21日 日本眼科学会総会（東京）
安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 戸野塚敏恵
- 4月18日 日韓合同 SMILE Forum ヒルトン東京お台場 安藤展代
第18回安心 LASIK ネットワーク会議 安藤浩
- 5月24日～26日 日本ロービジョン学会総会（東京）
石川暢子 笹原諒平 成瀬弘紀 山口優希
- 6月7日 検査部勉強会 コンタクト『AIR OPTICX TC』 日本アルコン(株)
- 6月21日 超広角眼底撮影アップデートセミナー in 東京
京王プラザホテル 須貝剛 成瀬弘紀
- 6月28日～30日 JSCRS 学術総会（京都） 安藤浩 安藤展代 江口亮
- 7月12日 検査部勉強会 『トリガーフィッシュ』説明会 (株)シード廣田様
- 7月26日 眼内レンズ PanOptix 勉強会 日本アルコン(株)石井様
- 7月28日 眼科スタッフセミナー2019 東京コンファレンスセンター・品川
高橋京子 山室智子 山川久美子 岡田真由子 志村舞 十文字恵
- 8月3日～4日 2019 眼光学チュートリアルセミナー 笹原諒平 山口優希
- 9月6日～8日 日本緑内障学会（熊本） 安藤浩
- 9月12日 小児眼科（斜視・弱視）症例検討会
ユニコムプラザさがみはら 山口優希
- 9月13日 社会保険診療懇話会 南足柄市文化会館 加藤晃仁
- 10月11日～15日 米国眼科学会 AAO(サンフランシスコ) 安藤展代
- 10月19日 神奈川県眼科医会健保懇話会 レンブラントホテル厚木
加藤晃仁 近藤里奈 飯山百合子 中村久美子 渡辺孔美 町田裕子
星野友美
- 10月24日～27日 日本臨床眼科学会（京都） 安藤浩 江口亮 井上拓己
- 10月26日 第26回 N-Cats 研究会 安藤浩
- 10月30日 医療機器販売・貸与者継続研修
国立オリンピック記念青少年総合センター 藤本景子
- 11月22日 医療安全講習会 参天製薬(株) 白岩様
- 12月6日～8日 日本網膜硝子体学会総会（長崎） 安藤浩 江口亮

■ スタッフ

常勤医	： 安藤 浩	安藤 展代	江口 亮	石川 暢子	戸野塚敏恵
看護師	： 井上 拓己	金田 浩子	甲斐 智美	榎本 和美	松山さやか
	藤田 孝枝	加藤 知佳	望月 美幸	露木 ちか	工藤奈津美
	堤 夏樹				
臨床検査技師	： 木村 智嘉	志村 舞	須貝 剛	十文字 恵	新村 瑞希
	成瀬 弘紀	梅本 和希			
視能訓練士	： 笹原 諒平	山口 優希			
検査看護補助	： 山室 智子	高橋 京子	藤本 景子	山川久美子	岡田真由子
	宮崎明日香	鈴木亜也子	矢部 美佳		
事務	： 加藤 晃仁	小寺 弥生	加藤 明子	山岸 友希	飯山百合子
	近藤 里奈	波多野麻里亜	山口いづみ	宮下千加子	小見山絵理子
	鈴木 雅美	矢口 弥生	田代 明子	関 麻子	奥村 明奈
	中村久美子	渡辺 孔美	町田 裕子	土橋 祥子	後藤芽久未
	関野 美美	高田 里沙	熊本 靖代	生水 里美	星野 友美
	宮澤 菜摘	小島 絵美	鍵和田利奈	細越 愛	野地 真弓
ドライバー	： 田辺 勝美	米山 俊彦	和田 弘	生沼 等	土屋 邦明

■ 編集後記

アニュアルレポート 2019 が完成しました。2019 年は安藤眼科医院にとって記念すべき 30 周年であり、本号は当院の歴史と共にお届けする記念誌となりました。所々に登場した年表やグラフは名誉院長の安藤展代がコツコツと 30 年間記録したエクセルデータを元に作成したものです。小田原クリニック開院まで数年間が割愛されている年表がありますが、名誉院長曰く『大した機械は使ってなかったのよ。』との事で、眼科医療の発展と共に、安藤眼科医院の年表もより濃いものとなっているのが分かります。

さて、このアニュアルレポートを制作するにあたり参考資料として必須になるミーティング資料なるものが当院には存在します。これは、毎週更新されるもので眼科の予定はもとより学会日程や出張予定、職員の結婚報告などなど職員が周知すべき内容が盛り込まれた資料です。そして、この資料の更新に合わせ毎週金曜日には職員が松田本院へ集まります。眼科全体としてのミーティングはもちろん、部署ごとに勉強会やディスカッションを行っています。3 院体制で診療を行う当院にとって情報共有はとても大切であり、患者様にはどちらの診療所でも安心して受診いただけるよう努めています。

別の診療所で勤務する仲間に出会えるのも楽しい時間です。時には名誉院長が旅行記を、また時には院長が読んだ本の話や…何か特別な時にはみんなでケーキを食べたりもします。

時代の流れと共に、当院も WEB や TV を使ったミーティングを！となるかもしれません。方法が変わったとしても、院長が見る未来をチラチラ気にしつつ、私達は今週来週とミーティングを重ね、より良い医療へと更新し続けていきます。そして気が付いた時、また次の記念誌を作成する時が来ていることと思えます。

アニュアルレポート編集長 志村 舞



- ◇ 安藤眼科医院
〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 965-1
TEL 0465-83-4545 FAX 0465-82-0981
- ◇ 安藤眼科医院小田原クリニック
〒250-0862 神奈川県小田原市成田 168-5
TEL 0465-38-0344 FAX 0465-38-2800
- ◇ 安藤眼科医院南足柄クリニック
〒250-0105 神奈川県南足柄市関本 569 ヴェルミ2 1F
TEL 0465-73-1515 FAX 0465-73-8585

<http://www.andoganka.com>
e-mail:info@andoganka.com